



B5FK-5271-02

Fujitsu Workstation CELSIUS

ラックマウントキット取扱説明書

目次

はじめに	3
ラックについて	3
対応製品について	3
本書の表記	3
安全上のご注意	5
1 梱包物を確認してください	7
2 取り付け方法	8
準備するもの	8
作業の流れ	8
ラックへのレールの取り付け	9
シャーシへのワークステーションの取り付け	11
ラックへのシャーシの搭載	14

はじめに

このたびは弊社のラックマウントキット（以降、本製品）をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→P.5）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証について

本製品は、修理・保証対象外です。

ラックについて

使用できるラックについては、富士通製品情報ページ内にある「ラック関連一覧」
（<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/>）をご覧ください。
ラック的使用方法については、ラックのマニュアルをご覧ください。



対応製品について

使用できるワークステーション本体は、本製品と同時にお届けする装置のみになります。
他の装置では、使用しないでください。




本書の表記

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、これらの絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
Copyright Fujitsu Limited 2023

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

なお、ワークステーション本体の設置や使用上のご注意は、ワークステーション本体に添付の『取扱説明書』に記載しています。必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告



ワークステーション本体をラックに取り付けるときは、システムを終了し、ワークステーション本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルや LAN ケーブル、周辺機器などの接続ケーブル類をすべてワークステーション本体から取り外してください。

感電したり、機器が故障したりするおそれがあります。



内部のケーブル類や装置を傷つけたり、加工したりしないでください。

故障・火災・感電の原因となります。



安定性の危険

ラックが転倒して重傷を負う可能性があります。

本製品をレールから降ろす位置まで引き出す前に、本マニュアルを確認してください。

降ろす位置にある本製品に荷重をかけないでください。

本製品を降ろす位置で放置しないでください。

⚠ 注意



ワークステーション本体を持ち運ぶときは、必ず 2 人以上で行ってください。

故障・けがの原因となることがあります。



ワークステーション本体をラックに取り付けるときは、ワークステーション本体を横にして作業をするのに十分な広さの場所で行ってください。



電源を切った直後は、ワークステーション本体の内部が熱くなっています。内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切った後 10 分ほど待ってから、作業を始めてください。

故障・けがの原因となることがあります。



ラックの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足が引っかかる場所には設置しないでください。

故障の原因となります。



空気の通風孔であるワークステーション本体の前面、左側面、および背面をふさがないでください。

これらをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁 止

ワークステーション本体を移動する場合は、必ず電源を切り、ケーブル類／マウス／キーボードを外してください。オプションの搭載によって、最大 29kg の質量となりますので充分注意してください。



禁 止

スライド／レールに取り付けた機器は、棚または作業空間として使用しないでください。

設置上のご注意

本製品の設置時は、次の設置条件にご注意ください。

なおワークステーション本体の動作保証温度や冷却機構については、ワークステーション本体に添付の『取扱説明書』をご覧ください。

- ワークステーション本体の動作保証温度を超えないようなラック内外の温度設定／管理をしてください。
- ワークステーション本体の冷却機構に合った空冷用空間スペースを確保してください。
- ワークステーション本体搭載時のラック全体の物理的安全性を確保してください。
- ワークステーション本体に電源供給を行う機器（テーブルタップ、他機器あるいはラックのサービスコンセント等）の電源供給能力（定格電流）の確認をしてください。
- ワークステーション本体の電源コードと、他の機器の電源コードを、テーブルタップに接続すると、合計された大きな漏洩電流がテーブルタップの接地電線を通して流れることがあります。

もしテーブルタップを使用する場合は、次に従ってください。

- ・工業用プラグを持ったテーブルタップを使って下さい。

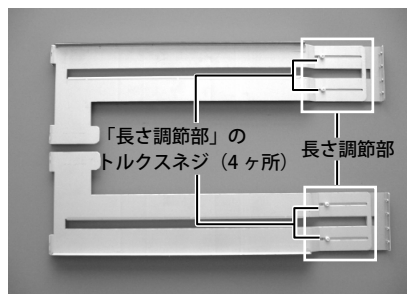
または、

- ・テーブルタップを分電盤に永久接続する場合は、テーブルタップの電源電線よりも先に接地電線を分電盤の接地端子に接続してください。

1 梱包物を確認してください

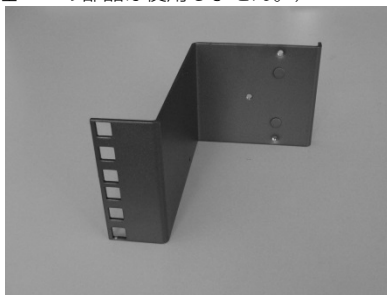
万一、足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

レール（右側用、左側用） 1組



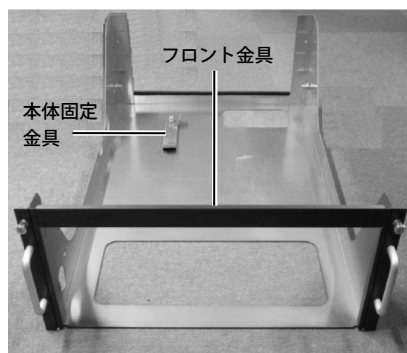
ラック連結金具 1個

(注：この部品は使用しません。)



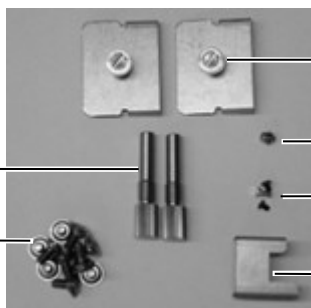
シャーシ 1個

(注：本体固定金具は使用しません。)



つまみネジ 2個

トルクスネジ
M5（長さ 10mm）
10 個



ストッパー 2個

なべ小ネジ M3 1 個

皿ネジ M3 3 個

注：2 個のみ使用します。

クリップ 1 個

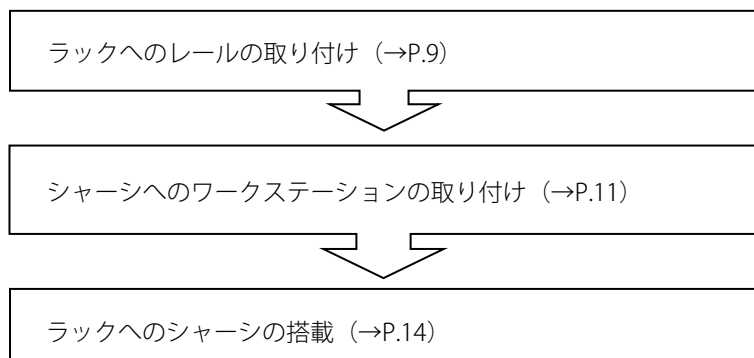
2 取り付け方法

準備するもの

- ・プラスドライバー（サイズ No1、No2）
- ・トルクスドライバー（サイズ T20、T25）

ネジのサイズにあったドライバーをお使いください。サイズが合っていないドライバーを使うと、ネジを正しく締め付けできないおそれがあります。

作業の流れ



ラックへのレールの取り付け

1 ラックにシャーシを搭載する位置を決めます。

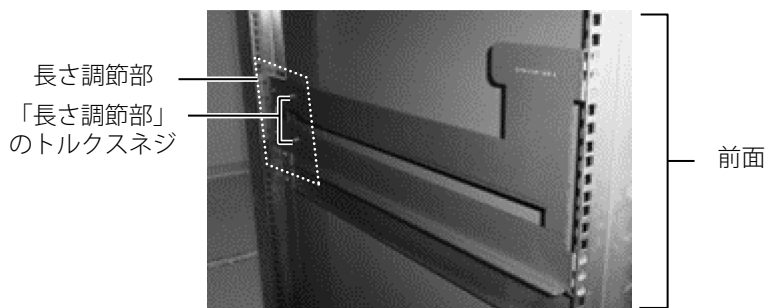
ラックには1Uごと（ネジ穴の間隔が狭くなっている所）に目印線が刻まれています。目印線がシャーシの底面になるように搭載する位置を決めます。

POINT ▶ ラックの最上部にシャーシを取り付ける場合は、メンテナンス作業でワークステーションを開けられるように、上部に3U空けてください。

2 右側のレールを取り付けます。

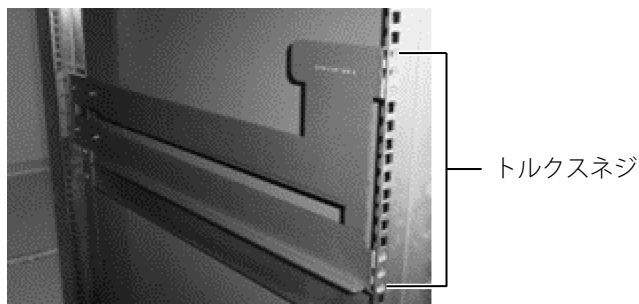
1 次の画像のような向きにして、搭載する位置にレールを合わせます。

「長さ調節部」を背面側にし、「長さ調節部」のトルクスネジの頭（2ヶ所）が内側にくるようにします。



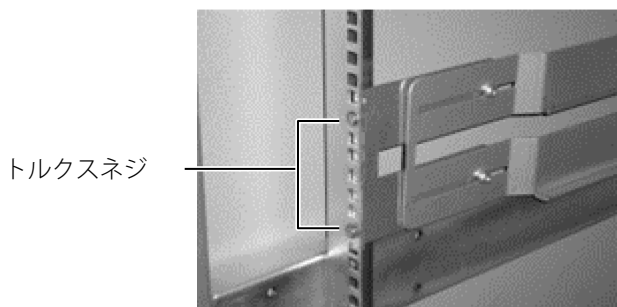
2 「長さ調節部」のトルクスネジ（2ヶ所）をゆるめて、レールを伸ばし、レールの長さでラックの奥行きを合わせます。

- 3 前面からラック支柱にレールをトルクスネジ（2 個）で固定します。
トルクスネジを固定する位置は、レールの外側のネジ穴を使用してください。



- POINT**
- ▶ レールの前と後ろが水平になるように取り付けてください。
 - ▶ レールの上から 2 番目のネジ穴は、シャーシをラックに搭載したときの固定用ネジ穴になります。

- 4 背面からラック支柱にレールをトルクスネジ（2 個）で固定します。
トルクスネジを固定する位置は、レールの外側のネジ穴を使用してください。



- POINT**
- ▶ レールの前と後ろが水平になるように取り付けてください。

- 5 「長さ調節部」のトルクスネジ（2 ヶ所）を締めます。

- 3 同様に、左側にもレールを取り付けます。

シャーシへのワークステーションの取り付け

⚠注意

指 示



ワークステーション本体を持ち運ぶときは、必ず 2 人以上で行ってください。
故障・けがの原因となることがあります。

指 示



ワークステーション本体をラックに取り付けるときは、ワークステーション本体を横にして作業をするのに十分な広さの場所で行ってください。

指 示



電源を切った直後は、ワークステーション本体の内部が熱くなっています。内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切った後 10 分ほど待ってから、作業を始めてください。
故障・けがの原因となることがあります。

指 示

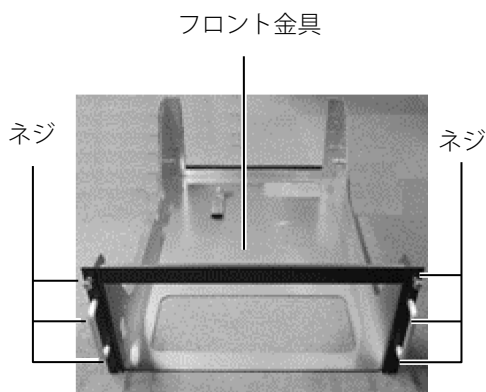


カバーや内蔵オプションを取り扱う場合には、ワークステーション本体の金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。



各ドライブやダミーユニットを取り付けるときは、ケーブル類をワークステーション本体の部品にはさみ込まないように注意してください。

1 シャーシの側面にあるネジ（6 ヶ所）を取り外し、フロント金具を取り外します。

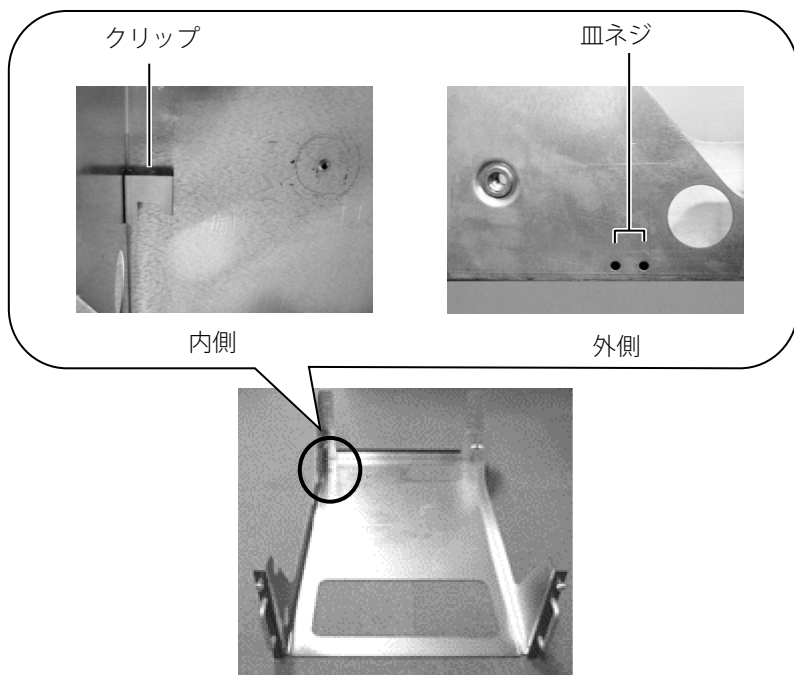


重要

- ▶ ネジを外すときに、フロント金具が傾いてネジが外れにくくなることがあります。フロント金具を支えながら、ネジを外してください。

2 シャーシから本体固定金具を外します。

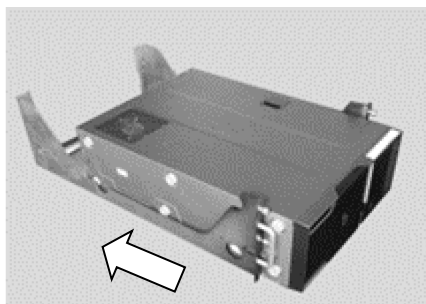
3 次の場所にクリップを皿ネジ（2ヶ所）で固定します。



4 シャーシにワークステーション本体を入れます。

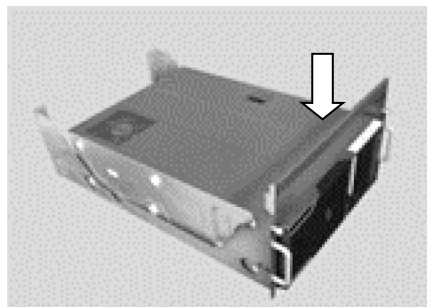
- 1 排気孔を上側にしてワークステーション本体を横に倒し、前面からシャーシにワークステーション本体を入れます。

2 クリップにあたるまでワークステーション本体を奥にスライドさせます。



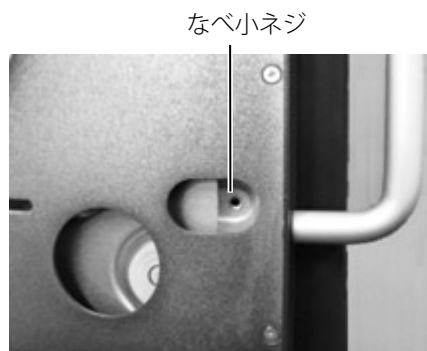
(画像は機種により異なる場合があります。)

5 手順1で外したフロント金具を取り付け、ネジ(6ヶ所)で固定します。



(画像は機種により異なる場合があります。)

6 シャーシの左側面からシャーシとワークステーション本体のネジ穴があっていることを確認し、なべ小ネジで固定します。



ラックへのシャーシの搭載

⚠ 注意



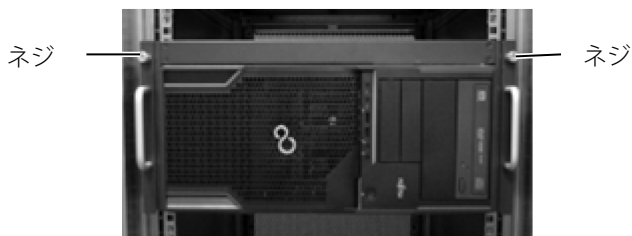
シャーシをラックに押し込んだり引き出したりする場合は、指や衣服がはさまれないよう注意してください。

けがをするおそれがあります。

🔍 POINT

- ▶ 本製品は、ラックの外部でワークステーション本体をシャーシに取り付けた後、そのシャーシをラックのレールに設置します。
- ▶ ワークステーション本体を保守する場合は、シャーシをストッパーが掛かる位置まで引き出します。

- 1 ラック前面からシャーシをレールに載せて後方まで押し込み、シャーシに付いているネジを締めます。

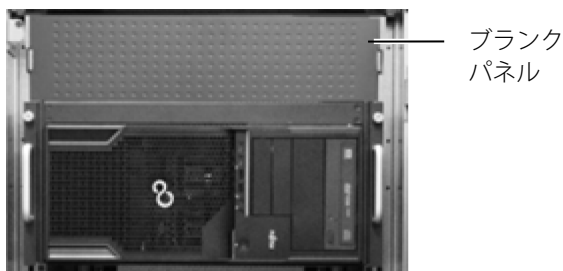


(画像は機種により異なる場合があります。)



重要

- ▶ ラックの最上部にシャーシを搭載する場合は、ワークステーション本体から排気した熱が対流するおそれがあります。ラック本体に添付されているブランクパネルをラックとワークステーションの隙間に入れてください。



(画像は機種により異なる場合があります。)

2 ラック背面からシャーシの右側と左側にストッパーとつまみネジを取り付けます。



重要

- ▶ ストッパーとつまみネジはしっかり取り付けてください。
シャーシを引き出したときに、ラックからシャーシが落下してしまうおそれがあります。

CELSIUS

ラックマウントキット取扱説明書

B5FK-5271-02-00

発行日：2023 年 9 月

発行責任：富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出してください。